



2020年12月16日

株式会社リクルートライフスタイル

「じゃらん人気温泉地ランキング2021」

**居住地別の訪問温泉エリア変化ランキング（「全国温泉地1年間の訪問経験ランキング」より）を発表
2020年4月以降は居住地を中心とした近場の温泉エリアへの訪問率がアップ**

株式会社リクルートライフスタイル（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：浅野 健）の観光に関する調査・研究、地域振興機関「じゃらんリサーチセンター」（センター長：沢登 次彦）は、旅行サイト『じゃらんnet』会員を対象に、温泉地利用に関するアンケートを実施し「じゃらん人気温泉地ランキング2021」を2020年12月10日（木）に発表しました。今回は調査の中より、「全国温泉地1年間の訪問経験ランキング」の居住地別の訪問経験エリアの伸び率ランキング（エリア別、都道府県別）を発表いたします。「じゃらん人気温泉地ランキング2021」は本年度で15回目の実施となります。

居住地別の訪問温泉エリア変化ランキング（「全国温泉地1年間の訪問経験ランキング」より）

すべての居住地において、居住している近隣エリアの温泉地への訪問率が上昇

◆北海道居住者……………北海道エリアの温泉地への訪問率が10.70ポイントアップ
（※北海道）

- ◆東北居住者……………東北エリアが13.33ポイント（※山形県）
- ◆関東・甲信越居住者…関東・甲信越エリアが12.47ポイント（※新潟県）
- ◆東海居住者……………東海エリアが15.56ポイント（※静岡県）
- ◆北陸・関西居住者……北陸・関西エリアが7.53ポイント（※兵庫県）
- ◆中国・四国居住者……中国・四国エリアが20.89ポイント（※山口県）
- ◆九州・沖縄居住者……九州エリアが11.42ポイント（※長崎県）

2020年4月の緊急事態宣言の発令により、外出自粛や県をまたぐ不要不急の移動自粛などがあった。その影響を把握するために、「2019年8月頃～2020年3月末」と「2020年4月～8月頃」の期間に分けた訪問率（構成比）を比較して変化を集計。（※＝各エリア1位の都道府県）

調査概要

「じゃらん人気温泉地ランキング2021」

https://www.recruit-lifestyle.co.jp/uploads/pdf/RecruitLifestyle_jalan_20201210.pdf

- ◎調査時期：2020年8月30日（日）～2020年9月7日（月） ◎調査対象：『じゃらんnet』会員
- ◎調査方法：インターネット上でのアンケートを実施 ◎対象温泉：全国の327温泉地（除く東京都・沖縄県）として設定
- ◎回収数：1万3,342人 ◎有効回答数：1万3,342人（%）

性別	%
男性	49.6
女性	50.4

居住地域	%
北海道	8.0
東北	5.5
関東・甲信越	37.3
東海	12.0
北陸・関西	18.8
中国・四国	6.8
九州・沖縄	11.5

年代		調査数	10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
全体		13,342	0.1	5.5	11.2	24.3	33.3	20.6	5.0
性別	男性	6,617	0.1	2.9	7.1	20.9	33.7	27.1	8.3
	女性	6,725	0.2	8.1	15.2	27.6	32.9	14.2	1.8

(%)

ライフステージ		調査数	未婚	既婚 (子供なし)	既婚 (子供あり)
全体		13,342	21.6	18.9	59.4
性別	男性	6,617	15.0	20.1	64.9
	女性	6,725	28.2	17.8	54.0



【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社リクルートライフスタイル 広報グループ 中村 太郎
TEL: 070-1288-3586 / tanakamura@r.recruit.co.jp

居住地別の訪問温泉地エリアの変化ランキングベスト3（エリア別）

- すべての居住者エリアで、居住している自エリアの温泉地への訪問率が上昇
中国・四国居住者は、中国・四国エリアの温泉地への訪問率が20.89ポイントと最もアップ

北海道居住者は北海道エリアの温泉地への訪問率が10.70ポイントアップ、東北居住者は東北エリアが13.33ポイントアップ、関東・甲信越居住者は関東・甲信越エリアが12.47ポイントアップ、東海居住者は東海エリアが15.56ポイントアップ、北陸・関西居住者は北陸・関西エリアが7.53ポイントアップ、中国・四国居住者は中国・四国エリアが20.89ポイントアップ、九州・沖縄居住者は九州エリアが11.42ポイントアップと、すべての居住エリアで自エリア内の温泉地への訪問が上昇している。

●北海道居住者 (n=1,068)

順位	訪問エリア	変化 (ポイント)
1	北海道	10.70
2	東海	-1.15
3	北陸・関西	-1.33

●東北居住者 (n=726)

順位	訪問エリア	変化 (ポイント)
1	東北	13.33
2	九州	-0.16
3	北陸・関西	-0.77

●関東・甲信越居住者 (n=4,961)

順位	訪問エリア	変化 (ポイント)
1	関東・甲信越	12.47
2	中国・四国	-1.42
3	北海道	-1.50

●東海居住者 (n=1,583)

順位	訪問エリア	変化 (ポイント)
1	東海	15.56
2	北陸・関西	-1.19
3	北海道	-1.81

●北陸・関西居住者 (n=2,502)

順位	訪問エリア	変化 (ポイント)
1	北陸・関西	7.53
2	中国・四国	2.58
3	北海道	1.34

●中国・四国居住者 (n=907)

順位	訪問エリア	変化 (ポイント)
1	中国・四国	20.89
2	関東・甲信越	-1.19
3	東海	-1.23

●九州・沖縄居住者 (n=1,513)

順位	訪問エリア	変化 (ポイント)
1	九州	11.42
2	東海	-0.73
3	関東・甲信越	-1.05

居住地別に、最近1年間(*)に「行ったことがある」温泉地を訪問エリア単位で集計

*最近1年間 = 2019年8月頃から2020年8月頃までを指し、「2019年8月頃～2020年3月末」と「2020年4月～8月頃」のエリア別訪問率（構成比）を比較

居住地別の訪問温泉地エリアの変化ランキングベスト3（都道府県別）

- 居住地エリア別に最も変化の大きかった都道府県はそれぞれ、北海道、山形県、新潟県、静岡県、兵庫県、山口県、長崎県となる

北海道居住者は北海道の温泉地への訪問率が10.70ポイントアップ、東北居住者は山形県の温泉地への訪問率が5.06ポイントアップ、関東・甲信越居住者は新潟県の温泉地への訪問率が2.95ポイントアップ、東海居住者は静岡県の温泉地への訪問率が7.15ポイントアップ、北陸・関西居住者は兵庫県の温泉地への訪問率が4.01ポイントアップ、中国・四国居住者は山口県の温泉地への訪問率が4.66ポイントアップ、九州・沖縄居住者は長崎県の温泉地への訪問率が5.34ポイントアップしている。

●北海道居住者 (n=1,068)

順位	訪問都道府県	変化 (ポイント)
1	北海道	10.70
2	富山県	0.09
3	新潟県	0.05
3	茨城県	0.05

●東北居住者 (n=726)

順位	訪問都道府県	変化 (ポイント)
1	山形県	5.06
2	岩手県	3.76
3	福島県	2.56

●関東・甲信越居住者 (n=4,961)

順位	訪問都道府県	変化 (ポイント)
1	新潟県	2.95
2	神奈川県	1.85
3	栃木県	1.80

●東海居住者 (n=1,583)

順位	訪問都道府県	変化 (ポイント)
1	静岡県	7.15
2	愛知県	3.85
3	岐阜県	3.25

●北陸・関西居住者 (n=2,502)

順位	訪問都道府県	変化 (ポイント)
1	兵庫県	4.01
2	石川県	2.48
3	和歌山県	1.52

●中国・四国居住者 (n=907)

順位	訪問都道府県	変化 (ポイント)
1	山口県	4.66
2	鳥取県	4.56
3	愛媛県	3.80

●九州・沖縄居住者 (n=1,513)

順位	都道府県	伸び率
1	長崎県	5.34
2	大分県	5.11
3	熊本県	1.20

居住地別に、最近1年間(*)に「行ったことがある」温泉地を訪問都道府県単位にして集計

*最近1年間 = 2019年8月頃から2020年8月頃までを指し、「2019年8月頃～2020年3月末」と「2020年4月～8月頃」の都道府県別訪問率（構成比）を比較